

就労移行支援事業

就職されたお二人の近況報告です

★陽だまりに就職して～

最初は対人関係にネガティブになり、悩みました。アドバイスされた時でも、なぜか責められている様な気持ちになりました。私を見て下さるから言って下さる…と責められるという考えから、教えて頂いていると、ポジティブに物事をとらえる様になりました。

精一杯仕事をする事は大切です、続ける事によって力が付いてくると思います。「他人に喜んで頂ける」とか「丁寧に速くできるか？」と言う事を常に考えながら働いています。丁寧にトイレ掃除をした時は、多くの方々に「ありがとう」と言われ嬉しいです。喜びが、やりがいのある仕事だと思える様になってきました。座学で学んだ「言い訳をしない」という事や「はい」と言って素直に行動する事の大切さも学びました。これが出来ないと間違いのもとになります。又、優先順位にも悩みました。時々今も悩みますが、私たち介護の現場では、安全面や利用者さんを一番に考える事や、笑顔で接したり、報告・連絡・相談・確認をしたり、自分の行動に責任を持つ事も大切です。色々な事に気付かせて下さった陽だまりのスタッフの方々や主治医やウエルの柏木理事長をはじめスタッフの方々のおかげだと感謝しております。これからも必要とされる人材になる為に、毎日精一杯を続けていきたいと思えます。



★太平ビルサービスに就職して～

Q:どんな仕事ですか？

A:ホテルの清掃です。仕事内容はシーツがしや掃除機がけ、洗面台の水回り、トイレの掃除です。

Q:今どんなことにやりがいを感じていますか？

A: 客室を掃除してきれいになる事です。最初の頃は職場の方からシーツめくりが速いと言われてたり、掃除機がけが丁寧だからほとんどゴミが落ちていないと言ってもらえて多少は自信に繋がったと思います。

Q:学生時代や作業所での訓練の中で今役立っている事は何ですか？

A:小さな事かもしれませんが、仕事が終わったら直ぐに報告する事や分からない事があったら直ぐに質問する事ができていると、会社の方から評価していただきました。

Q:就職前までに身につけておきたかった事、学んでおきたかった事は何ですか？

A:一人でバスに乗る事が出来なかったのが、実習中に練習しておいて良かったと思いました。

Q:就職してから困ったことはありますか？

A:今の課題ですが、トイレ掃除や水回りに時間が掛かりすぎているので、もっと時間やスピードを意識していきたいです。

Q:最後に一言

A:僕の場合は、職種の希望としてはずっと清掃業が良いと言いつけてきましたが、具体的にこんな職場の清掃をやりたいというのが、自分の中で定まっていまませんでした。みなさんはこれから自分の意思で、例えば清掃の仕事ならホテルやスーパーで働いてみたいなど、職場まで定められるように頑張ってください。



就労継続支援B型事業

★生産活動の紹介

試行錯誤しながら精一杯取り組み、出来上がった商品がお客様に喜ばれる。生産活動は社会の一員であることを強く意識することが出来、工賃を得ることで、就労への意欲や社会人としての自覚を高める貴重な機会と考え、法人オリジナル商品の生産活動に力をいれて取り組んでいます。

ボカシづくりの様子



♥自主生産品の紹介



EMボカシ 110円

生ゴミにEMボカシを混ぜ容器に密閉しておくと、発酵し、質の良い肥料になります。畑の土に混ぜると微生物の力で土が豊かになると好評です。



リサイクル石鹼 60円

使用済み油をリサイクルして作った石鹼です。油や泥などの頑固な汚れもきれいに落とせます！



ぼち袋 120円

手作りのぼち袋で、大切な人に感謝の気持ちを伝えてみませんか？ アクセサリーなどの小物類も入ります。

青空作業所、アンテナショップふくふく、石浦町産直市場菜々ちゃん等にて販売しております。

看護学生の実習の報告



青空作業所では、毎年JA岐阜厚生連看護専門学校の実習生を受け入れています。これは精神看護実習の一環として行われています。目的は、地域で生活している精神障がいのある人に対して福祉施設がどのような支援を行っているのかを学ぶためです。

実習期間中は、毎日2, 3名の学生が朝のミーティングから参加し、メンバーと一緒に作業訓練を体験します。一日の実習終了後は振り返りを行います。学生から聞かれる声は、「初めは緊張したけれど、メンバーさんから話しかけてもらえてうれしかった。一日楽しく過ごせた。」「皆さん、作業に集中して一生懸命取り組んでいて驚いた。入院中の患者さんとは全く違うことがわかった。」「アットホームな感じがした。メンバーさんにとって作業所は大切な場所だとわかった。」など、短い時間ではありますが、いろいろなことを体験し、学んでいただく機会となっています。

学生の殆どは卒業後、一般の病院に就職されますが、将来いつの日か、福祉施設に勤めてもらえるとうれしいです。その時、青空作業所のことを思い出してくれることを願っています。

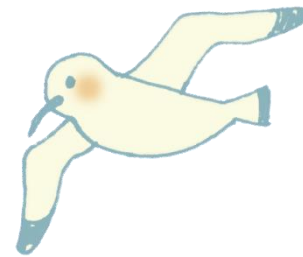
施設改修の報告



6月より行っておりました、施設改修が終了いたしましたのでご報告させていただきます。青空作業所では、通っていただく利用者さんの安全確保、様々な障がいのある皆様の見学などにおける安全な対応を考え、玄関アプローチの改修を行いました。

青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559
<http://welcomhida.web.fc2.com/>
平成29年 7月 7日発行 第33号



「福祉でないとできないこと」

理事長 柏木 真司

厚生労働省は、2018年度障害福祉サービス報酬改定に向けて検討チームを作り、議論を始めました。放課後等デイサービスといった障がい児向けの給付費が、2014年度から2015年度にかけて3割も増えたことを受けて、これをどう抑制していくかが論点となる見込みです。

就労支援関連では、新サービスの「就労定着支援」が注目されていますが、予算は支援の実施内容、件数によるのではなく、支援員の人件費として給付されるようです(あくまでも見込み)。当然のことながら結果(定着実績)が求められ、実績のあがらない事業所は翌年減額の対象となります。

検討チームのアドバイザーである毎日新聞論説委員 野沢和弘氏は「営利企業がたくさん参入してきた。それが一概に悪い訳ではないが、福祉でないとできないことをやる事業所を評価したい」と話されています。

「福祉でないとできないこと」とは何か。それは営利の追求ではなく、福祉の理念の達成のために取り組むこと。福祉の専門的知識とスキルをもって支援をすること。日々、真摯に取り組むスタッフならびに事業所が正に評価していただける報酬制度になることを望みます。

